

令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)			
事業名	大学の世界展開力強化事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)	参事官(国際担当) 小林 洋介	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)、「留学生30万人計画」(平成20年7月29日)、「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ」(令和5年4月27日教育未来創造会議第二次提言)			
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費			
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援することで、大学教育のグローバル展開力の強化を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	教育未来創造会議の第二次提言(令和5年4月27日)も踏まえ、より質の高い留学生交流と日本人学生の中長期の海外派遣の拡大、優秀な留学生の獲得に向け、多様な学生が切磋琢磨できる環境の醸成による教育環境の活性化、国際頭脳循環の実現、更なる国際教育連携ネットワークの構築に向けて、国内大学等の国際化を図ることが必要である。このため、コロナ禍で停滞した留学を、オンラインも活用しつつ、質保証を伴った教育プログラムとして回復・伸長させ、真のグローバル人材を育成する新たな国際教育環境モデルを構築することも重要となる。						
事業概要(5行程度以内)	○国毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。 ○平成23年度に「キャンパス・アジア中核拠点形成支援」と「米国大学等との協働教育創成支援」を、平成24年度に「ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」を、平成25年度より「海外との戦略的高等教育連携支援(欧州・AIMS)」を、平成26年度に「ロシア、インド等との大学間交流形成支援」(平成29年度に拡充)を、平成27年度に「中南米等との大学間交流形成支援」を、平成28年度に「アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化」を、平成30年度に「COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援」、令和元年度に「日-EU戦略的高等教育連携支援」を、令和2年度に「アフリカ諸国との大学間交流形成支援」を、令和3年度に「アジア高等教育共同体(仮称)形成促進」を、令和4年度に「インド太平洋地域との大学間交流支援」を開始。 ○公募により、国公私立大学を通じて競争的に選定、重点的な財政支援を行う。支援期間は原則5年間。【定額補助】						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/sekaitenkai/						
実施方法	補助						
補助率等	補助期間終了後は自立的に事業を継続することを前提に、補助期間最終年度へ向け補助額の逡減を予定。						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	1,028.1	
		令和5年度第1次補正予算				1,028.1	
		前年度から繰越し(C)	43	80	170	49	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 80	▲ 170	▲ 49	-	
		予備費等(E)	▲ 23	▲ 31	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,138	886	1,176	2,424.8	2,170
		執行額(G)	1,053	828	1,153		
		執行率(%) =(G)/(F)	93%	93%	98%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	88%	82%	109%		
		令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)
(項)	高等教育振興費				※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※既存事業については、5年間の補助期間の中で、開発した国際教育プログラムを大学による自立的運営につなげていく観点から、原則として補助金支援額は逡減させていく。令和6年度は新規事業としてEU諸国・ASEAN諸国等との大学間交流形成支援を実施予定であり、新規事業費として1,000百万円を要望(2,170の内数)。 ※重要政策推進枠 1,000百万円		
(目)	国際化拠点整備事業費補助金		1,346	2,169			
(目)	職員旅費		1	1			
(目)	委員等旅費		0	0			
(目)	庁費		0	0			
(目)	諸謝金		0	0			
(目)	その他	0	▲ 0				
	計(A)	1,347.7	2,170				

活動内容① (アクティビティ)	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を行う大学に対し、事業期間中の中間評価と毎年のフォローアップ活動を実施するとともに、プラットフォーム構築を後押しすることで交流事業を促進する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	双方向の交流によるキャンパスの国際化	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計	活動実績	人	3,053	4,392	-	-	-	
			当初見込み	人	3,168	2,845	2,980	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 海外連携大学との信頼関係を構築しつつ、質の伴った大学間・学生交流を進める中で、学生交流数の中でも、単位付与を伴う交流が増加していくことが目的達成につながると考え、短期アウトカムとして設定している。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	海外連携大学と双方向の交流によるキャンパスの国際化	対象プログラムにおける単位付与を伴う日本人学生の海外留学経験者数と外国人学生の受入数の合計	成果実績	人	1,183	1,475	-	-		
			目標値	人	1,113	2,165	-	-		
			達成度	%	106.3	68.1	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	採択大学に対するフォローアップ調査									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 各採択プログラムの進捗状況等について評価を行う中間評価や事業の成果について評価を行う事後評価においては、各採択プログラムにおいて目標とされた学生交流の実現について、その内容・数的結果等について有識者により総合的に判断されるため、事業全体が目標に到達していればA評価以上を取得でき、双方向の交流によるキャンパスの国際化が実現できたものと考えられるため。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	採択プログラムにおける目標の達成	中間評価・事後評価でのA評価以上の件数(年度毎の評価対象プログラムのみ)	成果実績	件	21	27	17	-		
			目標値	件	21	28	19	-		
			達成度	%	100	96.4	89.5	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の中間評価・事後評価結果									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック		

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
1,039百万円

「大学の世界展開力強化事業」プログラム委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、これら大学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【補助金等交付】

A.大学等(全56件)
1,002百万円

本事業の目的に基づき、それぞれ我が国にとって戦略的に重要な国・地域の大学との教育プログラムの開発・実施を行う。

【補助金等交付】

B.(独)日本学術振興会
38百万円

本補助金事業の選定に係る審査、評価、モニタリング等の業務を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費・謝金	特定研究員、特定助教、事務補佐員等	20	人件費・謝金	審査部会、書面審査等	18
その他	交流学生渡航支援費用・データベース管理経費等	14	その他	会議記録外注費等	14
物品費	フィールド調査実習用品・オンライン授業用教材等	4	旅費	事務打ち合わせ・会議出席	4
旅費	海外連携大学訪問、海外連携大学教員招聘旅費等	2			
計		40	計		36

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人京都大学(国立大学法人東京外国語大学)	3130005005532	アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム	40	補助金等交付	-	--	
2	学校法人関西大学	6120905001356	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム	33	補助金等交付	-	--	
3	学校法人慶應義塾	4010405001654	Japan-EU高度ロボティクスマスタープログラム(JEMARO)	30	補助金等交付	-	--	
4	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	ポストSDGs時代の経済安全保障に貢献できる自律協働型国際プロフェッショナル人材育成	29	補助金等交付	-	--	
5	学校法人五島育英会	7011005000358	アジア大洋州国際キャンパスにおけるカーボンニュートラル社会の実現に貢献できる人材養成プログラム	29	補助金等交付	-	--	
6	学校法人濱名山手学院(学校法人谷岡学園、学校法人宮崎学園)	5140005010901	産学官連携ベンチャー・エコ・システム創成による起業家育成カリキュラムの展開	29	補助金等交付	-	--	
7	国立大学法人お茶の水女子大学	3010005007400	グローバルリーダー育成のための「女子大学発」実学型EDIプログラム	29	補助金等交付	-	--	
8	国立大学法人東京外国語大学	4012405001287	歴史と公共圏を鍵概念として日欧相互理解を深める国際人材育成プログラム	28	補助金等交付	-	--	
9	国立大学法人豊橋技術科学大学(国立大学法人宇都宮大学、国立大学法人千葉大学)	1180305003290	近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム	28	補助金等交付	-	--	
10	国立大学法人広島大学	1240005004054	国際協働学習を通じて醸成するアジャイル・アントレプレナーシップ	25	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	